

請 願 文 書 表

【平成25年3月定例会】

受理年月	受理番号	紹介議員	提出者	付託委員会
平成25年 1月30日	請願 第1号	天羽 篤 片田 真弓	徳島県徳島市国府町 府中643 徳島県平和委員会 代表理事 森本 克博	総務産建 常任委員会
<p>(件名・要旨)</p> <p>「オスプレイなど米軍機の訓練中止を求める意見書の提出に関する請願書」の件について</p> <p>【請願趣旨】</p> <p>昨年7月、米海兵隊の垂直離着陸輸送機MV22オスプレイ12機が、米軍岩国基地に陸揚げされ、各地の抗議集会や自治体の要請を無視して、10月に普天間基地に配備、その後、機数を増やしながら、本格的な運用が始まり、「市街地上空飛行の回避」など日米合意も無視した訓練が進行している。</p> <p>米軍は訓練ルートを全国的に設定しており、オレンジルートの四国・徳島県では、危険な低空飛行訓練に対する県民の不安が高まっている。</p> <p>徳島県での米軍機低空飛行訓練は開始から20年余、この間、早明浦ダムの近くで墜落し、乗員2名が死亡する事故を起こし、また、通常のコースを大きく離れた超低空飛行も行われてきた。</p> <p>オスプレイは積載量を3倍にするなど、紛争地に兵員や武器などを輸送する能力を高めているが、これまでモロッコやフロリダでの墜落事故など、多数の死者を含む大きな被害を与えている。</p> <p>その後、米空軍の特殊作戦用垂直離着陸輸送機CV22オスプレイの配備が報道され、日本は最大のオスプレイ基地として、危険な役割を果たそうとしており、沖縄を初め、全国でオスプレイ訓練ストップの声が広がっている。</p> <p>徳島県民を含む全ての人々の安全のために、オスプレイなど米軍機の低空飛行訓練ストップを求める意見書を、政府に提出していただきたく、請願する。</p>				